

入学おめでとう



4月5日に美国中学校で、4月8日には美国小学校と日司小学校、余別小学校で入学式が行われました。新一年生は、上級生や先生に温かく迎えられ、たくさんの祝福を受けながら、新たな第一歩を踏み出しました。



美国小学校（13人）



余別小学校（1人）



日司小学校（1人）



美国中学校（9人）

美国小新1年生に

今年も手作り胸花を寄贈

きょうか

西川 守 さん (小樽市塩谷)

美国小学校入学式で、新1年生の胸元を飾る淡いピンクの胸花。この胸花は、小樽市塩谷在住の西川守さん(72歳)が、毎年寄贈しています。

20歳のときから自身の母校、塩谷小学校の新入生に手作りの胸花を贈り続けている西川さんは、平成12年、初孫の凌平さんの入学をきっかけに美国小学校への寄贈を始め、以来、14年間、延べ165人の新1年生の入学を祝ってきました。



胸花を製作する西川守さん

「近所から『うちの子が入学の時もお願い。』、校長先生から『また、来年も。』など頼まれるので、やめるにやめられなくなってしまうんだよ。」と、西川さんは笑いながら語っていました。

入学式での子どもたちの笑顔を想像しながら作られた胸花は、今年も美国小学校新1年生13人の胸元で咲き誇っていました。



交通安全の願いを込めて・「愛の鈴」寄贈



寒さが和らぐと共に雪解けが進み、徐々に春めいてくるこの季節は、車での外出も増えてきます。しかし、この時期はスピードの出し過ぎによる交通事故が多発する時期でもあります。

積丹町商工会女性部では交通安全への願いを込めた「愛の鈴」を町へ、併せて町を通じて小学校の新入学児童へ「交通安全のお守り」を毎年贈っており、今年も4月3日に葛西幸子部長と山本恵子副部長が役場を訪れ、松井町長へ贈りました。

一つ一つ時間をかけて手作り

で縫い上げる「愛の鈴」は全道的にも部員数の減少などにより、廃止してしまった団体も多い中で、同部は昭和53年からこの活動を続けています。

また、4月12日には美国郵便局前で交通安全街頭啓発を行い、国道を通るドライバーに「愛の鈴」を手渡ししながら安全運転を呼びかけていただきました。

このようなまちづくり活動を長年続けている商工会女性部の皆さんに感謝の拍手を。



東日本支援活動 / 積丹観光協会 【厚生労働大臣から感謝状】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災者の支援活動を行った方のうち、その功績が特に顕著と認められた方へ贈られる「厚生労働大臣感謝状」が田村厚生労働大臣より積丹観光協会へ贈られ、4月18日(木)役場町長室で、松井町長から佐藤勝次会長へ伝達されました。

積丹観光協会では、平成23年3月23日から



佐藤 勝次 会長

25日までの3日間、佐藤会長ほか6人でキャンピングカーとトラックに乗って現地入りし、岩手県岩泉町、山田町など3カ所でカレーライス2千3百食の炊き出しのほか、歯ブラシやマスクなどの支援物資を被災者へ届けました。また、帰町後も義援金活動を行うなど、被災者への

貢献のために奔走されました。佐藤会長は「復興はまだ終わっていない、早期復興にはこれから皆さんの協力が必ず必要です」と話しました。



被災地支援カレーライスの炊き出し